

令和6年度 第13回地域支部連携研究大会 アンケートについて

開催日時：令和6年11月12日（火）

開催場所：ハイランドリゾートホテル&スパ

参加人数（申込人数）：192名／（196名）

峡北支部：18名／（19名）

峡中支部：37名／（37名）

甲府支部：53名／（55名）

峡東支部：41名／（42名）

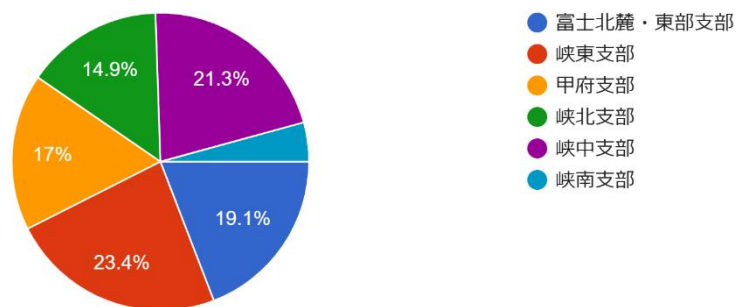
富士北麓・東部支部：37名／（37名）

峡南支部：6名／（6名）

アンケート回答数：47件

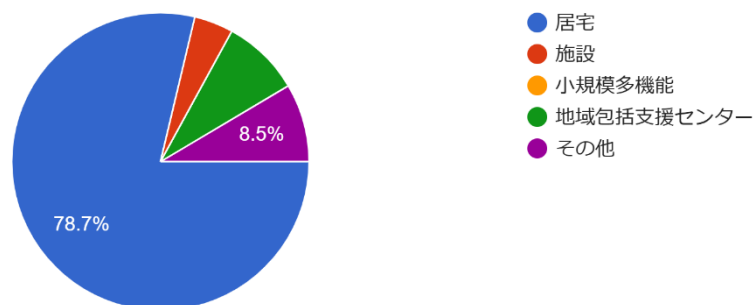
1. 所属支部をお教え下さい

47件の回答



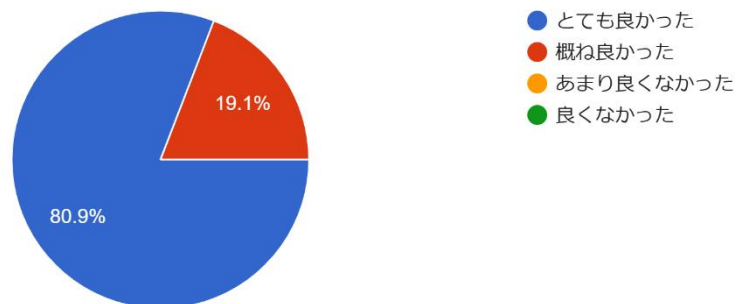
2. 所属事業所種別をお教え下さい

47件の回答



3-1 基調講演について

47件の回答

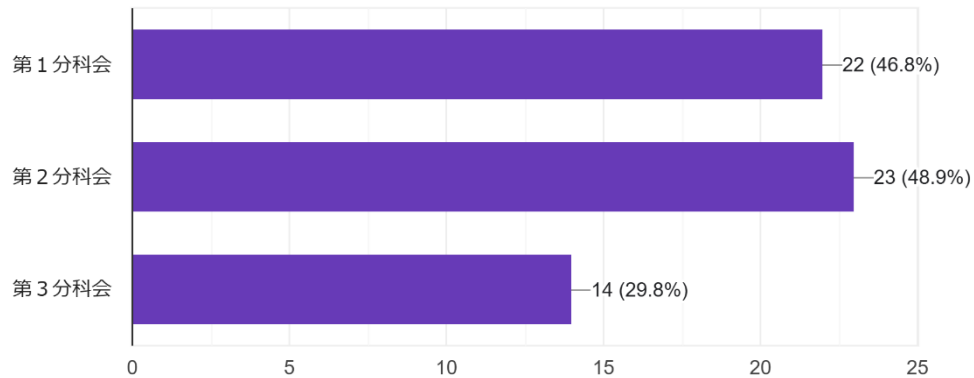


3-2 その理由をお聞かせ下さい。

- ・報酬の事や業務のことで感じている理不尽などを上の方も理解してくれているとわかった
- ・今のケアマネの現状や、これから求められるケアマネ像、将来のケアマネの役割等がわかった
- ・ケアマネを取り巻く問題がデータからもわかるように説明があり、納得できる内容であった。
- ・白澤先生の視点からの言葉がケアマネの視点であり共感する部分が多かった。
- ・給付管理が発生しないケアマネ業務はとても多く、そこを評価されないとやりがいでだけでは仕事は続けられないと思う。国にこの状況を理解してもらい、制度が変われば良いと思う。
- ・介護の問題は、ケアマネジャーが抱えるものではなく、地域で解決するものだということが確認できました。
- ・必要な支援は本人・家族・地域にあり、そのネットワークを一つにする事が出来る事で本当の支援が出来るのだろうと感じました。
- ・今年度の介護支援専門員の受験数も全国で山梨は最下位であった事、昨年よりさらに減少している事実の要因の中に処遇改善金がない事や研修のハードルが高いことなど日頃から不満となっている事の内容についての今後の期待や課題が再確認できた
- ・求められる事柄や責任で疲弊感に埋もれてしまいがちな、想いをすくい上げてくださいました。
- ・世界を見すえての、介護支援専門員の危機感から、光の部分やケアマネの創造性の大切さ、処遇の問題等、たくさんの学びができ、とても良かった。最高の基調講演でした。
- ・ケアマネジャーの仕事を理解し、価値を認めていただけました。

4-1 参加された分科会をお教え下さい（複数回答可）

47件の回答



4-2 特に印象に残った演題をお教え下さい。また、その理由もお教え下さい。

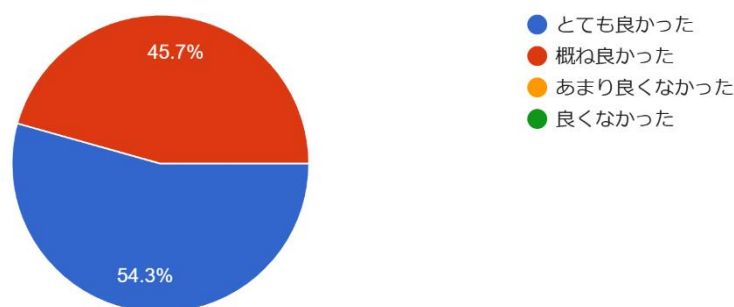
- ・地域を繋がるケアマネの活動が印象に残りました。
- ・終末期、本人家族が望む生活をおくるために。病院の職員や周囲に労ってもらっても、きっとこのケアマネさんはこのケースのことを無念と共に忘れないだろうと思う。
- ・認知症キャラバンメイト、今回の大会テーマに沿った内容でした。地域を巻き込む主任介護ケアマネの実際が知れて、アクションを起こす必要を痛感いたしました。
- ・「エリア内ケアマネのネットワークづくり」。他支部の取り組みがとてもわかりやすく説明されていたから。
- ・認知症高齢者のストレングスを活かす支援について考える。ケアマネとして本人の強みを引き出し、本人の社会参加に繋がるところに感銘をうけた
- ・施設の意思決定支援
- ・全てです
- ・支援困難と感じた事例を振り返って学んだこと。関係者が優先順位の高いサービスと思っている本人、家族は拒否することはよくある。本人の思いを聞き、落としどころを見出すことの大事さを学んだ。
- ・AIプランによるケアプランチェック
- ・「エリア内ケアマネジャーのネットワーク作りと質の向上に向けて」主任ケアマネの研修を通してケアマネジメントについて一緒に考え、地域とつながり顔の見える交流が出来ている事が良いと思います。
- ・身寄りの無い方の支援マニュアル 社会福祉士の視点の違いや新たな発見ができた。実践できた際の報告やマニュアルの内容など参考にしたい
- ・絆というテーマのもと、皆さん良かったです。

・家族の歴史と共に振り返る地域ケアマネジャーのあり方。1利用者、家族、その知人と確実に地域に根付くようになるまでの対人援助のあり方に感銘を受けました。それぞれのあるがままを受け入れてきた姿勢の賜物ではないかと思います。

- ・第二の我が家
- ・家に帰れる可能性は5%以外と言われたが在宅への退院を実現
- ・看取り
- ・家族崩壊していた家族が介護・医療関係者により一つになった。理由、子供が引きこもりや精神疾患を持って介護を担わなければならないケースは、今後も増えて行くと思うので、とても参考になった。

5-1 支部活動報告（報告会・掲示）について

46件の回答



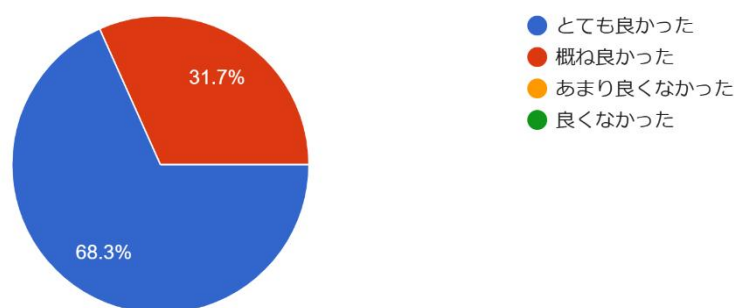
5-2 その理由をお教え下さい。

- ・それぞれの支部の取り組みが分かった
- ・リレー方式で繋がるのはとても良かったです。強いて言えば、その場で質問を聞いて答えました！みたいなライブ感があっても良かったでしょうか。毎年、長くなるので発表みたいにタイムキーパーがいても良いかもしれないですね。支部の色がわかって良かったです。
- ・各支部の特徴が出ていた
- ・スライドを用いて内容も支部ごとの特徴になっておりとても分かりやすかった。
- ・サポート的に利用することでの効果が理解できた。
- ・掲示は各支部の活動内容がわかった。字が小さいところがあったので、大きくしてもらえると読みやすいと思う。
- ・協会の活動を身近に感じることができ、今後に繋がりたいと思うことができた。
- ・峡北地域にケアマネジャーが増えている理由に興味があった。勢いがあった良かった。
- ・地域らしさが満載
- ・業務のお忙しい中、一生懸命に協力し合って活動されているので。

- ・支部の繋がりを感じられた。
- ・写真がみやすかった
- ・活動を通じて結束していた
- ・それぞれの、支部のカラーが出ており活動内容がよくわかったし、どこの支部もみんな頑張っていると感じ、勇気付けられた気がしました。
- ・質問バトタッチ式で工夫されていて、手作り感があった。

6-1 シンポジウムについて

41件の回答



6-2 その理由をお教え下さい。

- ・地域づくりに既に取り組んでいる人が居ることが分かり、少し勇気付けられたような気がします。
- ・介護保険外の視点がきけた。座長の仕切りがとてもすごく勉強になった。
- ・一般の方から若い方から、福祉施設というものが閉鎖されているという意見が斬新でした。高齢者の居場所というのが福祉施設ではないということも、聞いてよかったです。介護と言うものをオープンにしていくつながりを持っていく巻き込んでいくなどというキーワードが出たことで、新しい地域介護に向けて学べるものがたくさんありました。
- ・高木先生の優しくも的確なコメント、シンポジスト3方の多角的な視点。あっという間の時間でした。
- ・社会への色々な関わりが事例として聞いた事
- ・シンポジストのキャラクターが座長のファシリにより、引き立てられていたため。
- ・介護や福祉だけの考えでない社会課題を考えられる
- ・横の繋がりの大切さ
- ・介護の問題は、地域で解決するものだと、確認ができ、自分も地域との繋がりを持たないといけないと思いました。

- ・ 3つの つくる、そのために大切にしていること、実践している事、効果や重要性について知ることができた。
- ・ 様々な活動や意見が勉強になった。
- ・ 頭の枠組みが外れた。物事の考え方に、行き止まりを作らず、どうしたらできるかなど考える思考を学び感じ取った。
- ・ 介護、福祉に限らず様々な繋がりや巻き込む方法などについて知ることができた。
- ・ 地域作りに興味があり「さわやか福祉財団」に所属して学んでいるのですが、なかなか活動につながりません。自然な型で全ての方を巻き込む姿、たいへん学べました。
- ・ 同業者でない方の介護の話が聞けて、とても良かったです。内容も興味深いもので良かったのに、最後の方で皆さん帰られてしまい、「もったいないな」と思いました。
- ・ ケアマネの視点外の考え方を学ばせていただいた
- ・ 地域を支えている人達がいる事がわかった
- ・ 熱意があるシンポジストの話聞いて前向きな気持ちになれ良かった。
- ・ 2.30年前とかかわらずイキイキと暮らせる場所があることを考え、自分だったら何ができるか。モチベーションがあがりました
- ・ それぞれの行動が実っていると感じられました。繋がる事で、咲かせられる(形になる)事がよくわかりました。
- ・ それぞれの個体の活動状況から、仲間づくりに活かせる視点と、地域で介護の花を咲かせるためには、これら全部が、お互いを知って横の繋がりに広がって行くと、いいなと思った。

7. 今大会の運営に関してご意見をお願い致します（日時、場所、お弁当、大会誌等）

- ・ 役員の方々、ご尽力ありがとうございます
- ・ 会場は良かったと思います
- ・ 自由にお水が飲める様にしてもらいたかった
- ・ いつも研修の時に北麓の方は大変だと峠を超えて改めて思った。そのうえで、できたら明るい時間に峠を超えて帰りたい、帰り道は怖かったです。
- ・ 参加費は高かったですが、とても良い大会でした。お弁当も美味しく、ゆっくりいただけました。久しぶりにお会いする方もいて、対面の大会の良さですね。
- ・ 2回目の参加でしたが、全て前回は上回る良い大会だと感じました。
- ・ 温かい環境でとてもよかったです。富士山がよく見える演出が素晴らしかった。会場が広い環境に対して、分科会のパワポ(スクリーン)が小さく、後方は見えづらかった。
- ・ 会場を考えると参加費はしょうがないがやや高い
- ・ お弁当はとてもおいしかったです。富士山も見えてお天気もよくて、とても良かったです。ありがとうございました。

・同じフロア内で全てが行われていた事、空調もしっかりしていた事が良かったです。花の願い事は趣深くて良いと思いました。お弁当は美味しかったです、この時期に氷水はどうかと思いました。

・お弁当は豪華でとてもおいしかった。大会紙も見やすくいいと思う。

・富士山をバックに講演 とても新鮮な気分で良かった。

・開催場所が少し遠い事や参加費が高いため欠席する人が多かった

・参加費が少し高いと思いました。それだけの内容と大会誌やお弁当だったと思うので参加して良かったと思いました。

・移動距離は大変でしたが元気の出る大きな富士山の見える場所で、大変有意義な内容でした。運営にご尽力して下さった皆様へ感謝いたします。

・全てが素晴らしかったです。参加者が、少なかった原因は何だったのかな？

・大会長並びに実行委員会の皆様のご尽力のおかげで大変充実した一日を過ごすことができました。

・全て満足できた研修でした。欲えば、他の分科会に参加できなかった事です

・今年は冬が遅かったため、そこまで冷え込まず参加しやすい陽気だったと思います。たまには、北麓地域まで脚を運び、みなさんにお会い出来て良かったと思いました。ホテルのお弁当だったので、とても豪華でした。大会誌も見やすく綺麗に編集されていて、ご担当者のご苦勞が伺えました。ありがとうございました。

・設備が良く空調も整っているので、快適に過ごせました。お弁当もおいしかったです。少し遠いので、金曜開催だとありがたかったなと思います。

8. 大会テーマである「いざ前進！未来の花を咲かせよう！」について、あなたが今大会を通じて得た感想や気づきをお教え下さい。

・ケアマネを勇気づけるような大会だったと思います

・未来の花が咲かせられるような大会でした。

・更に飛躍して前に進もうと思います

・なにができるか、なにからやるか漠然とはしているが、明日から頑張ろう！と思えた

・ケアマネを取り巻く課題を改めて考える機会になった。

・介護、福祉だけではない人をいかに巻き込めるのか…ここに尽きるのだと思いました。基調講演からシンポジウムまで、一貫してどんな地域を作りたいのかを考えました。私の周りはまだ耕していないところがたくさんあることに気づき、動いて耕さなくては…と感じました。まずは仲間を3人探すことから始めます。

・ケアマネはソーシャルワーカーであると再認識しました。

・ケアマネとしてのこれからの役割を考える事ができた1日でした。基調講演から分科会、シンポジウムの流れがとても良かったと思います。

・ケアマネジャーが価値のある専門職として多くの方に選ばれるようになるにはどうしたらいいのか考えるきっかけでした。

・初めて参加したが、協会として活動していくことの大切さを気づかされた。

・未来を予想することがないので、良い機会であった

・自分自身が前進していかなければ。一步から頑張りたいと思います

・大会に参加して、地域に参画して、繋がりを持ち、地域で、皆が、自分らしく生活できるようにする事が重要だと感じました。

・県内のケアマネさん達が、それぞれの場所でそれぞれに頑張っている事を実感でき、勇気づけられました。今行っている事が間違っていないと確認しながら本人が本人らしく家族と生活できる在宅をこれからも考えていきたいと思いました。

・基調講演の内容がとても印象に残り、ケアマネの減少が歯止めとなり、よりよい仕事と報酬が見合った働きができるように日々頑張りたいです。

・ケアマネジメントについて、影の部分ばかりではなく、前向きな意見をたくさんきけてよかった。

・在宅看取りが多くなってきている事や重層的な支援体制が整備される事の重要性や連携について再確認ができた

・今回の研究大会は、ケアマネの硬い思考の枠を外すような大会だった。自分の仕事が誇りに思えた。

・参加者を見て、「ケアマネジャーの高齢化」実感しました。(若い人がいない)

・前に向かっていく、行きたいといういきごみを感じられて良かったです。

・基調講演や地域介護など、未来に希望が感じられる良い大会だったと思います。

・魅力ある仕事にしていくためには、ひとりひとりが意識して行くことが大切だと感じた。

・ケアマネとしてやりがい再確認できました

・時間が長いと感じた、もう少し短時間でもいいのではないかと思います。

・基調講演はじめテーマに合った内容でした

・いつまでも同じことではいられない、閉塞感が、静かだけど進んでいくケアマネジャーの仲間たちが集まっていた

・各地域のケアマネが集う貴重な機会だった

・巷ではケアマネ不足と言われ、仲間が減っており、でも、ケアマネを必要として下さる方々はたくさんおられ、仕事は山積みで本当に大変だけれども、同じように頑張ってる仲間が居ると実感出来る事で安心できます。まだまだ頑張ろうとも思えます。未来へ繋ぐため、これからも前を向いて元気よく進んでいけたらと強く感じる大会になったと思います。

・シンポジウムの感想にも述べたように、ケアマネだけの世界を飛び出して、地域のさまざまな組織や団体と一緒にあって、利用者を活かして根付いて行きましょうという想いと、テーマはびったりだと思いました。